

仙台の今、未来への責任！

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和4年第4回定例会報告

<https://www.y-noda.net>
info@y-noda.net

■ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和4年第4回定例会報告です。
今定例会では、条例改正や計95億9,087万円を増額する補正予算を含む21議案を可決いたしました。

条例改正は、源泉徴収所得税の納付漏れを巡る問題で、市長・副市長の給与を3ヶ月50%削減するもの。

主な補正は貨物運送事業者への支援金8億6,946万円、高熱費高騰に伴う市施設の運営管理費の追加16億8,045万円などです。

今回のレポートは、自由民主党の代表質疑の質問と答弁の一部を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



▲仙台市議会議場にて

令和4年第4回定例会 自由民主党代表質疑より

リーダーとしての取り組み方針

質問 本市のリーダーとして1万人の職員を束ねる市長は、相次ぐ不祥事やミス等が続いている状況に対して、今後どんな采配を行うのか。

そして現在、市民生活が脅かされている社会に立ち向かい、戦うことで変革を起こし、低迷した経済を活力ある仙台の「新しい景色」ならぬ「新しい仙台」を市民に見せたいとお考えか、市長の見解を伺う。

答弁 私はこれまでも「まちの主役は人」との考えを基本に市政運営に当たってきた。そのためには職員が市民の皆様と連携を強めながら、まちの個性を共に磨き上げていくことが重要であり、その根幹には市政に対する市民の皆様方の信頼が不可欠であると認識している。

今般の源泉所得税の納付遅延を含め、不適切な事務処理事案が相次いでいることに、深くお詫び申し上げます。

コロナ後の都市間競争を勝ち抜くためにも、DXやGXといった世界的潮流を捉えた上での積極果敢な取り組みが不可欠で、その努力の先に私どものまち・仙台の「新しい景色」が広がると認識している。

一人ひとりが輝ける未来に向けての歩みを、市役所の組織力と自主性を発揮さ

せながら市民の皆様と共に進めていく考えだ。

新型コロナウイルス感染症における本市の対応

質問 宮城県では「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」を発出し、医療提供体制の維持確保や、感染拡大防止措置等について呼びかけを行った。現在まさに第8波の真ただ中にあり、未だ収束が見通せない状況をいかに乗り切る考えか。

答弁 医療を必要とされる方が適切な医療を受けられることが重要であるとの考えのもと、病床の確保や発熱外来の実施の協力を依頼してきた。また相談体制やオンライン診療の受診体制の強化を図り、自宅で療養される方々の支援の充実に努めてきた。

加えて、日常的にケアが必要な高齢者等の患者の円滑な療養に資するために、県との協議により本市としてもケア付き宿泊療養施設の運営に協力することとし、補正予算案を提出した。



物価高騰に対する補正予算

質問 厳しい状況に鑑み早急に支援を行っていただきたい、今後のスケジュールは。

答弁 国からの「重点交付金」も活用しながら、個人事業主の方も含めて新たな支援策を設けることとした。必要とされている事業者の皆様へ出来る限り速やかにお届けできるよう準備を進めていきたい。

質問 補正予算で支援金の予算が計上された事は評価する。しかし、補正予算の根拠となる対象車両の台数に誤りがあったという。事業者支援が行き届かない状態を懸念するが、その原因と今後の対応について伺う。

答弁 10月に提供を受けた車両数は条件の設定が充分ではなく、本来より大幅に少ない数値が提供された。今後必要な事業費を改めて算出の上、追加提案できるよう準備を進めていきたい。

児童福祉施設における安全管理の徹底

質問 安全装置は無いよりあった方が良い。義務化するのも賛成だが、そもそも置き去りにしてしまうのは意識の問題であり、安全装置に頼り切ってしまう管理者の意識が余計に低下するのではないかと懸念する。安全装置導入に加え施設管理者に対して児童を守る意識の徹底を行うべきと考えるが、如何か。

答弁 園長等の施設管理者が児童の命を守るという責任を改めて自覚をし、職員とともに施設全体で児童の安全確保に取り組めるよう本市としても様々な機会をとらえて強く働きかけていく。



農業経営緊急支援事業

質問 農業経営緊急支援事業に7,600万円余りが計上されているが、この事業の概要と支援を行うことで価格高騰の影響がどのくらい緩和されるのか。また一日も早い支援を行っていただきたい。

答弁 秋作に使用した肥料については来年2月ごろ、春作に使用する肥料については3

月ごろ、また飼料については2月ごろに支給したいと考えており、速やかに手続きが行えるよう準備を進めている。

質問 肥料や飼料支援は国や県からもあり、手続きと手間が増えてしまうのではないかと懸念するが、如何か。

答弁 本市では国の事業と同様に、農協等の団体から申請をいただき支給することとしており、事務的な負担は大きくない。

また、飼料については直接個別の畜産農家に支給することとしており、申請のために必要な書類を極力少なくするなど負担を減らすようすすめている。

質問 農業を取り巻く環境は厳しい状況でありながらも、農業未経験の若者が参入するケースが増えてきている。持続可能な農業の価値を見直し、本市の農業を守る追い風となるような施策が必要なのではないか、如何か。

答弁 新規就農時の経営開始資金の交付や機械・施設を導入する経営発展支援事業等に取り組んでいる。

今後、雇用就農の機会増加につながる法人への支援や、経験の浅い若い方々が農業に参入するためのハードルを下げるスマート農業の推進等に取り組み、農業への参入を後押ししていきたい。



防災・減災、国土強靱化の推進

質問 宅地耐震化推進事業は、国土強靱化の施策として大地震の発生時に滑動崩落が生じる可能性の高い、盛土造成位置を把握し必要に応じて対策を検討すること。現在の進捗状況と今後の予定は。

答弁 面積が3,000平米以上の大規模盛土造成地を対象として実施し、専門家の意見も伺いながら安全性の確認が必要な箇所の抽出を進めている。令和7年度までの3箇年で抽出した造成地において、地盤調査等を実施の上、安全対策の必要性を確認し、災害に強い取り組みを進める。

質問 近年の災害はゲリラ豪雨など、大雨による土砂災害等も多く発生している。水害に対する造成地の調査や対策についてはどうお考えか、見識を伺う。

答弁 詳細な地盤調査等において大雨時の滑動崩落の主要因である地下水位の状況を把握し、対策が必要となった場合は、

地下水位の上昇を抑止するための施設等についても検討していく。

源泉所得税の納付遅延

質問 今般の源泉所得税の納付遅延だけではなく、給付金の誤支給、障害者雇用率の誤算定など、不適切な事務処理が相次いで発生している事は極めて遺憾であり、市政への信頼を損なう由々しき事態だ。後を絶たないのは単に職員個々の問題にとどまらず、組織運営そのものに大きな課題があるといわざるを得ない。改めて猛省を促すとともにこうした事態に対する市長の認識を伺う。

今回の不納付加算税の財源は市民の税金だ。市役所の尻拭いをするに当然ながら多くの厳しい声をいただいている。市民にどう理解いただくのか。

答弁 このような事態を防ぐことができなかった事実を重く受け止め、これまで取り組んできたことを検証した上で組織全体にわたる課題を十分に踏まえた対策を講じていく必要があると認識している。

今後外部の有識者の意見も伺いつつ、全庁を挙げて適正事務の確保に取り組んでいきたい。

質問 1月には建設局での納付遅延が発覚し、救済を受けられないという状況に市民は怒りを超えて呆れている。そもそも1月の発覚した時点で公表し、所内で注意喚起をしていれば約5,000万という巨額の税金を無駄にする必要がなかったとも考える。さらに厳しく申し上げるが、市役所のこうした隠蔽体質が、今回に限らず様々な問題の原因になっているのではないか、如何か。

答弁 今回の件の反省を踏まえ、源泉所得税の納付遅延が生じた場合は、納付事務を所管する労務課・会計課から速やかに全庁へ共有し、一層の注意喚起を図っていく。またそれ以外の不適切な事案についても迅速な報告を重ね、各職場でのリスク管理と防止策へと確実に生かしていくことで、前例を教訓とした不適切事案の発生の防止に努めていきたい。

質問 他にも同様の事例はないか。注意喚起や調査は行っているのか。速やかに公表し全庁上げての是正を強く要求する。

答弁 本来は源泉徴収すべきところ適切に行っていない事例を一定数把握した。今後詳細な調査を行うとともに適切に対応していきたい。

デジタル手続条例

質問 後手に回った条例も、各局の取り組み状況の分析も行わず、具体的な目標値も現時点でない事は如何なものか。デジタル化への取り組み姿勢の表れだ。

デジタル化への取り組み目標をしっかりと示し、数字で示されれば各局の取り組みも、市民からより厳しく評価され、やる気度、本気度も見える形で進めることができると考えるが、如何か。

答弁 現在デジタル化の進捗に関する数値目標の設定は一部の事業にとどまっているが、次年度に予定する計画の中で、数値化も含め取り組み状況を市民の皆様にわかりやすくお示しできるよう検討していく。

スピード感を持って取り組む必要があり、今回の条例も契機としながら本市のデジタル化を推進していきたい考えだ。



質問 DXは市民と共に作る「市民共創」でなくてはならない。DXとは変革だ。これまでの業務の根底を覆すくらいの努力をしないと本市は生き残れないと肝に銘じ、DX推進を遂行していただきたいと強く要望する、如何か。

答弁 誰もがデジタル技術による利便性を享受できることが重要と考え、市民の皆様の声に常に耳を傾けながらデジタル化を進めてきた。引き続き職員全体の意識改革と「人を中心としたDX」の実現を強く推進していく。

質問 ビックデータの活用が全国で標準的になっている。福岡市では、ビックデータを、各種施策に活用していくと聞いている。本市もビックデータ等をどんな分野からどう活用したいかなど具体的に示すべきと考えるが、如何か。

答弁 現在、中心商店街の人流データの活用について検討を進めている。

今後企業や関係機関と連携しながらビックデータの利活用に向けた環境整備や人材育成等の取り組みを推進していきたいと考えている。

アフターコロナを見据えた今後の支援

質問 マスク生活ももうすぐ3年。原材料価格や燃料費の高騰、円安などの影響により本市経済は大きく疲弊してきた。特に地域経済を支える中小企業への影響は非常に大きなものがある。

今後、人口減少は一層進行し、市場の縮小やさらなる人材不足が見込まれるなど、本市中小企業を取り巻く環境はより厳しさを増すことが見込まれる。そのような中であっても中小企業の成長を図り、本市経済の持続的な成長を進めなくてはならない、当局の見解を伺う。

答弁 それぞれの事業者が社会環境の変化を的確に捉え、経営課題や今後の方向性を定め、新たな取り組みにチャレンジすることが重要だ。事業継続に向けた下支えはもとより、生産性の向上や新たなビジネスの創出など意欲ある取り組みをしっかりと

と後押しすることで、地域経済の持続的な成長に向けて取り組んでいきたい。

4 病院の再編



質問 県は年度内の基本合意を目指しているとのことだが、本市への回答が依然として不明確な内容に終始している。

このままでは具体的な検討ができない中で再編が強行されていくのではないか。市長は今回の県の回答をどう受け止めているのか、今後の対応も含め伺う。

答弁 県からの回答は残念ながら私どもの懸念や疑問に答えるものではなく、全般にわたって充分ではなかった。

本市の医療提供体制にどのような影響があるか未だ判然とせず、検討を深めることが難しい状況が続いている。県に対しては、本県の医療政策を主導する責務を担う立場として、詳細かつ慎重な検討と丁寧な説明に努めるよう強く求めていく。

質問 宮城県精神科病院協会から「県立精神医療センターの富谷移転は再考すべきである」という見解が公表された。現場の最前線の方々から強い懸念が示されたものだが当局の考えは、如何か。

答弁 県の回答は具体的な方策等は示されず十分な説明とは言い難い。精神医療センターのあり方は、今後の本県の精神医療全体にも影響を及ぼすもので、県においては本市を含む関係者と意見交換を行うなどしながら慎重に検討を進めていただきたい旨、引き続き申し述べていきたい。

質問 本市では「医療のあり方に関する検討会議」を設置し、これまで5回の会議が開催されている。現時点でどんな課題が見えているのか。そしてその課題に対して今後どう対処していくのか伺う。

答弁 これまでの会議では救急医療や地域における医療と介護の連携等について幅広い議論がなされている。本市の医療提供体制に関わる課題と取り組みの方向性について検討を深め、今後の方針を見定めていきたいと考えている。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

料金受取人払郵便



差し出し有効期間
2023年
4月30日まで

切手不要

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)
野田 ゆずる 行

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
ご住所	□□□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
ご意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
その他 必要な 事項		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。